

くめじま

議会だより

2012.6.1

No.40



花びらで
色水作り

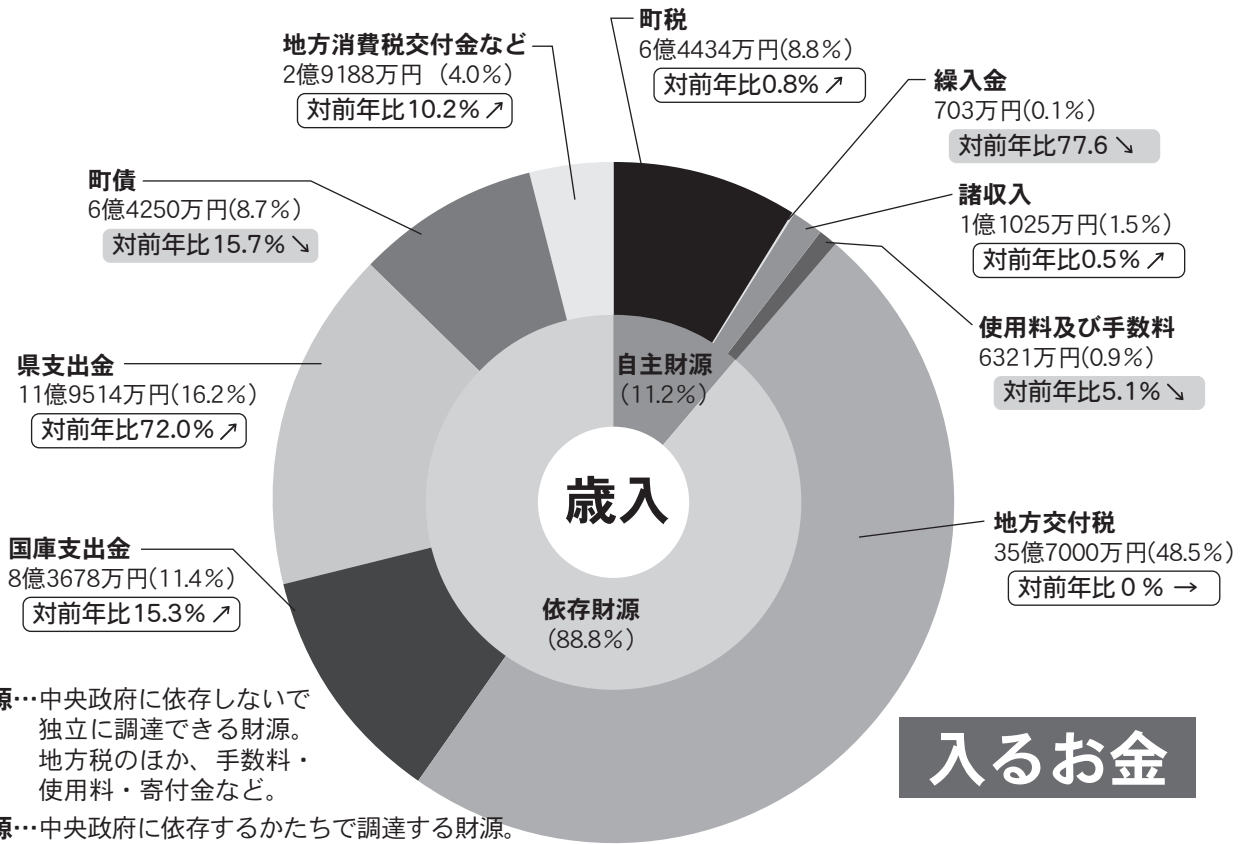
中央保育所

3月定例会

平成24年度一般会計予算	2
3月定例会で決まったこと	4
町政のここを問う 一般質問	5
めざせ！飲酒運転0の島	15
視察報告	16

118万円

町民と行政が知恵を出し合い 協働する町づくり



自主財源…中央政府に依存しないで独立に調達できる財源。地方税のほか、手数料・使用料・寄付金など。

依存財源…中央政府に依存するかたちで調達する財源。地方交付税のほか国庫支出金など。

入るお金

用語解説

- 一般会計**…福祉や教育費など町の基本的な事業に要する歳入歳出を経理する会計
- 特別会計**…特定の歳入（保険料や使用料など）で、特定の事業を行い、一般の歳入歳出と区分して経理する会計
- 地方交付税**…財政力が弱い自治体でも、福祉や教育などの基本的な行政サービスができるよう国が配分するお金
- 町債**…町が借り入れたお金。道路や建物など、長期間使用する施設の建設費を、今後利用する住民にも負担してもらうもの

- 国庫支出金・県支出金**…国や県から入ってくる、使い道が決まっているお金
- 繰入金**…歳入（入ってくるお金）が不足する場合に、基金（町の貯金）を取り崩して必要な事業に使うお金
- 分担金・負担金**…特定の事業を行うときに、その経費に充てるために、その事業の実施により利益を受ける人に負担をしてもらうお金
- 諸収入**…貸付金の元利収入など
- 公債費**…借入金（町債）の返済をするお金

予算審査報告

予算審査は、議長を除く13人の委員で構成された特別委員会を設置し、3月9日、12日の2日間にわたって審議しました。審査の中から、主な質疑内容を報告します。

一般会計

Q 奥武島・オーハ島地区整備基本構想委託料で予算計上されているが、久米島に自然が唯一残された島をどのような整備計画で進めていくのか。

A オーハ島については、手つかずの自然を残し、人工的な構造物を作るのではなく、島まるごと博物館という方向性で考えている。

Q 沖縄県の海洋深層水研究所の農業部門の研究が24年度で終了すると聞いているが、終了した場合、現在町が計画している深層水関連事業に研究員の指導・助言等は受けられるか。

A 今後、温度差発電を中心とした複合利用プロジェクトが続くので、研究部門を残してほしいということは、口頭ではありますが、県の担当部長に要請している。

Q 新たに民営化される保育所の職員がほとんど臨時職員で対応すると聞いているが、保育のサービス低下にもつながると思う。町として指導はできないか。

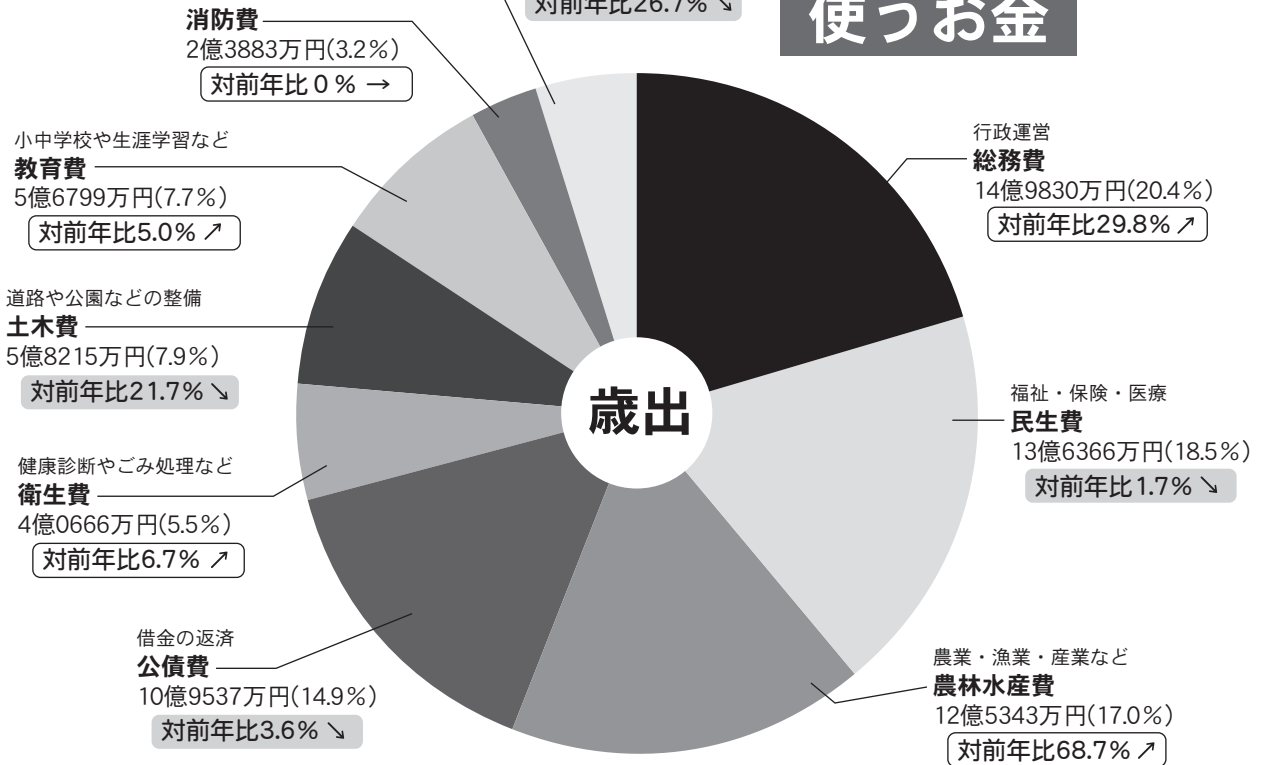
平成24年度 一般会計予算 73億6

※その他（3億5477万円）の内訳

- 商工費 1億8731万円(2.5%) 対前年比3.7% ↓
- 災害復興費 90万円(0.01%) 対前年比79.1% ↑
- 議会費 8725万円(1.2%) 対前年比10.2% ↓
- 予備費 7929万円(1.1%) 対前年比58.6% ↓

※その他 3億5477万円(4.8%) 対前年比26.7% ↓

使うお金



平成24年度 特別会計予算状況

会計名	歳入総額	
国民健康保険特別会計	13億0510万円	
後期高齢者医療特別会計	7377万円	
下水道事業会計	2億9646万円	
水道事業	収益的収入	2億1627万円
	収益的支出	2億1525万円
	資本的収入	1億0609万円
	資本的支出	1億6400万円

※水道事業特別会計の資本的収入が資本的支出額に対して不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補てんする。

- Q** 県としても約6割は本務採用するよう指導しているようですが、保育園の経営の問題等もあることから、町としても言えない部分もある。しかし、保育のサービス低下がないようにと町からの指導は十分できると思う。
- A** 公立病院が指定管理され運営方法が変わるが、町としての負担の増減はありつつあるのか。
- Q** 過去5年分の赤字の平均の金額を基本として、指定管理料として補填し、指定管理期間の5年間負担の増減はないが、5年後の再契約時に再度見直しをすることになっている。
- A** 学校の統廃合が25年度を目標に作業が進められていると思うが、検討委員会を何回開催の予定か。また今後のスケジュールは。
- Q** 検討委員会は3回の予定で進めている。現在仲里校区にアンケートを実施している。その内容をまとめた後、委員会で検討をして6月議会で議決する。
- Q** 案の提案を予定している。
- A** 前村幸秀人材育成基金が新年度予算に計上されていないようだが、今後どのように活用していくのか。
- Q** 具体的な活用方法は、委員会を立ち上げて検討する予定で進めているが、現在委員会の立ち上げが出来ていない状況で新年度予算には計上していない。
- Q** ● 水道事業会計 ● 未収金には企業も含まれていると思いますが、過年度分は徴収できているのか。
- A** 過年度分は、企業と支払い方法について協議し計画的に徴収している。
- Q** ● 国民健康保険特別会計 ● 国保税の徴収率は何パーセントで県内で何番目に位置しているか。
- A** 前年度の徴収率は88.81%、県内で40位で、下から2番目でここ何年かはこの順位で推移しています。

3月定例会 決まったこと

平成24年3月(第2回)定例会は、3月7日(水)から23日(金)の17日間の日程で行われました。定例会では、24年度予算をはじめ議案23件、決議1件を審議し、すべて原案どおり可決。8日(木)の一般質問では11人が登壇し活発な審議が行われました。

23年度補正予算

- 一般会計補正予算(第5号) ※全員賛成
75億9281万円(3256万円減)
- 国民健康保険特別会計補正予算(第4号) ※全員賛成
13億2848万円(1578万円増)
- 下水道事業特別会計補正予算(第5号) ※賛成多数
2億9199万円

24年度予算

- 一般会計予算 ※全員賛成
73億6118万円
- 国民健康保険特別会計予算 ※全員賛成
13億0510万円
- 後期高齢者医療特別会計予算 ※全員賛成
7377万円
- 水道事業会計予算 ※全員賛成
2億9646万円
- 下水道事業特別会計予算 ※全員賛成
3億7926万円

条例の改正

- 漁船保全修理施設条例 ※全員賛成
利用者が水産業者に限定されているため、これまでの指定管理者制度から管理委託制度に移行
- 花卉集出荷貯蔵施設条例 ※賛成多数
利用者が花き生産者に限定されているため、これまでの指定管理者制度から管理委託制度に移行
- と畜場条例の一部を改正する条例 ※賛成多数
と畜場使用料(山羊・めん羊)を改正し、肉加工室、肉加工室冷凍庫の使用料を新たに設定
- 課設置条例の一部を改正する条例 ※全員賛成
町政運営の円滑化のため、組織・機構の一部を改める
- 手数料徴収条例の一部を改正する条例 ※賛成多数
謄本の交付で、世帯員の人数に関わらず、手数料を同額とするために単位を改正
- 博物館条例の一部を改正する条例 ※全員賛成
博物館法の改正による条例改正

- 土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例 ※全員賛成
土地改良法の改正による条例改正

契約

全員賛成

- 多目的公園整備工事請負契約
◎契約の方法 指名競争入札
◎契約の金額 2億5200万円
◎契約の相手 久米建設(株)・(株)丸一組・宮里住設経常建設共同企業体

協議

全員賛成

- 沖縄県介護保険広域連合規約の変更に関する協議
事務所の位置変更に伴う規約の変更

指定管理者の指定

全員賛成

- 家畜市場の指定管理者の指定
- 女性・若者等活動促進施設の指定管理者の指定
- 久米島葉用作物等農産品加工施設の指定管理者の指定
現行の指定管理者の指定の期間が終了するため再指定

一般審議

全員賛成

- 新町建設計画の変更

損害賠償の額

全員賛成

- 損害賠償の額
自動車破損事故による損害の賠償
233万円

委員任命

全員同意

- 教育委員会委員の任命
當間 裕子(字上江洲)

議員提出

全員賛成

- 宣言決議
「飲酒運転根絶の更なる推進」宣言決議
詳細は15ページ参照

第1回臨時会で 決まったこと

会期：平成24年2月20日

一般審議

全員賛成

- 町道山城1号線の廃止
町道山城1号線を廃止し農道に変更

質問と答弁の内容を要約して掲載しています。
※ここでは年号（平成）を省略しております。

航空路線の確保

問 J T A 以外へも要請を！



山里昌輝 議員

答 他社への打診も検討する

山里 町長はまさに政治家としての踏ん張りどころだが、今回の久米島路線機種変更は、全くもって一方的な決定であり、利用者無視にほかならない。この状況下では、他航空会社への要請行動をスピード感をもって取り組んで行く必要があると思うが、今後の予定を明確にしてもらいたい。

町長 関係機関に要請してきたが、方針どおりJ T A 側から3月25日から（最終

便をジェット便からR A C 便に）変更する報告を受けたので、地元関係者で検討し、他社導入の可能性を打診していくようにする。さらにR A C の機種更新の時には、大型機種導入の要請を確認している。このことを踏まえ、今後は関係者からの情報収集を行いながら対応していきたいと考えている。

山里 航空会社が争

奪合戦をしている中、J T A にこだわることはない。今一度、他航空会社への要請の本気度を確認したい。

町長 近々、要請計画をたてている。大型ツアーの問題や特産物の車エビ等の輸送に支障をきたしていることもあり、他航空会社への望みを捨てているわけではないことをご理解いただきたい。

問

障がい者福祉
**障がい者に
就労の場を！**

答

あらゆる状況を想定し検討中

山里 障がい者、取り分け三障がい者（知的・身体・精神）を取り巻く環境の整備についてどのような計画を進めているのか、その内容を伺いたい。

町長 町地域活動支援センター「さくら」の施設が老朽化していることと、三障がい者のバリアフリー化や、作業スペースが狭いことから、新たな施設が必要となっている。そのため老朽化した仲里改善センターを取り壊し、その敷地内に

諸々の関係する施設の整備計画を進めている所である。

山里 作業所については計画内容に前進が見られるが、島外の施設入所者、養護学校入学者が今後、島で就労できるような拠点施設の整備が必要であり、議論を進めて行くつもりでいる。



問 硫黄鳥島の利活用を早急に！

答 港を整備し、有効利用する



仲村昌慧 議員

仲村 硫黄鳥島の登記手続きが完了したことで「次年度以降利活用について検討する。同島との往來がしやすいように港の整備なども検討している」とのことだが、利活用についてはどのような組織で検討していくのか。また、港の整備について町の考えを伺う。

町長 組織については、字鳥島を含めて検討する必要がある。港を整備しないと通常どおりの行き来ができない状況にある。まずは港の整備が第一だと考えている。

特定離島に指定した上で、国において港湾施設を建設するよう調整を進めていく。

仲村 以前、鳥島射爆場の代替地として硫黄鳥島が候補地として挙がったが、この島を絶対に米軍に使わせてはいけない。早めに利活用を考えるべきではないか。

町長 防衛大臣発言で非常に心配をかけたが、何があっても我々の島であり有効に活用したい。

これも質問

問 街路灯の修理、道路沿いの除草を！

答 街路灯は県より3月中に補修すると返事がある。雑草対策については引き続き交渉を重ねる。

問 葬祭場の建設は必要か？

答 町民の意見を聞いて計画を示したい

仲村 葬祭場建設を23年度目標に検討していたが、建設計画はあるのか。

町長 21年度に行つた墓地整備計画のアンケートで斎場の要望がある。現在、該当する補助事業がないので、起債や一括交付金で建設できないか検討している。

仲村 目標とした23年度までに出来なかつた理由は何か。

環境保全課長 視察を行つて検討したが、該当するメニューがなく23年度までに建設できない状況である。

仲村 25年度から29年度の5年間で交付税が6億8000万円減少し、今後ますます財政状況が厳しくなる中で、葬祭場建設に係る予算を示して、葬祭場が必要か町民に問いかけてはどうか。

町長 いろいろな方々の意見を聞いて、もし建設決定するのであれば計画をちゃんと示して、議会の同意を得て進めたい。

ここでいう葬祭場とは、火葬から葬式が行える施設のことである。



宇江原総清 議員

問 鳥島射爆撃場の環境汚染

答 一定条件で健康被害

宇江原 町の観光産業やこれから進めようとしている海洋深層水利用による温度差発電の阻害要因は、鳥島射爆撃場だと私は考えている。昨年の福島第一原発事故以来、久米島への来客数は激減。昨年中の船と飛行機の利用者は一昨年に比べ船の利用者が1万3735人減少。飛行機は1万1876人減少。特に観光客が減っているという。人口もここ4年間で505人の減少である。町長に伺う。①鳥島射爆撃場は海洋深層水の多角利用や観光産業の障害になると考えるか。②嘉手納弾薬庫に貯蔵されているといわれる40万発の劣化ウラン弾が米軍によって

再度打ち込まれる可能性はあると思うか。③米軍は、劣化ウラン弾は放射能ではないとか、内部被曝も認めていないが、これについてどう思うか。
町長 ①鳥島射爆撃場が海洋深層水の多角的利用の阻害要因になっていると考えていない。②米軍の劣化ウラン弾の再度打ち込みは、国内では禁止されているので、基本的にはないと考えている。③米政府は湾岸戦争での劣化ウラン弾による健康被害を否定している。劣化ウラン弾と健康被害と因果関係との証明が十分でないとの指摘がある。しかし、一定条件下での健康被害はあるものと考えている。

宇江原 (広島を抱える中国新聞の) ホームページでは「米軍鳥島射爆撃場に1520個発射」「貫通体回収まだ16%」(平成12年)との記事が掲載されている。当時の矢ヶ崎琉球大学教授はエアゾール化した劣化ウラン弾の放射能により長期的に見れば、原爆に劣らない環境汚染になると言っている。町長が射爆撃場の契約を続けることは、天にツバをしただのと同様、必ず久米島の身に降りかかると私は心配している。鳥島射爆撃場の危険性を知りながら、20年間も契約したのであれば、不作為による犯罪的行為だと言われても仕方ない。観光に影響が大だ。

これも質問

問 コンクリート護岸の撤去と、これに伴う潮害防備保安林等の植栽について。

答 関係部局と調整を図っていく。

問 業者から借り入れたユニーク車の事故補償と公正公平な入札措置について。

答 久米島町契約規則等に基づき、適正に執行されているものと考えている。

問 射爆撃場の早期返還と 住民への説明を

答 粘り強く早期返還を求めていく



棚原哲也 議員

棚原 町長は18年3月議会での鳥島、久米島の両射爆撃場の返還要請決議以降、町議会での質問やマスコミ等の取材に対し一貫して契約更新を拒否する姿勢を示してきた。しかし、昨年3月29日、苦渋の選択をしたとして、議会への説明もないまま借地契約の予約に合意している。町民へ契約に至った経緯の説明が必要だと思つが、決断をする前に漁協へ相談した



か。

町長 町民への説明は、町民との意見交換会の場を利用して説明に努めてまいりたい。久米島漁協の組合長とは意見交換をしている。

棚原 町有財産である。

り大変重要な島の消滅にかかる借地契約であるため、早期返還についての住民投票を行う考えはないか。

総務課長 住民投票については内容的にそぐわないと考えている。

棚原 早期返還に向けての町としての今後の取組方針を伺いたい。

総務課長 ねばり強く今後、政府への交渉等を通してやって行きたいと考えている。

これも質問

問 海岸に放置されているコンクリート片の早期撤去を！

答 現状を視察済。撤去にどのくらいの予算がかかるかを調査したい。

問 無縁仏の収骨奉納を！

答 すぐ着工できるように準備している。

問

謝名堂、泊間の 県道の早期整備を

答

県へ要請していきたい
と思う

棚原 本地区については宇根、真泊、泊、謝名堂地区の子ども達の通学路であり、住民の生活道路でもある。電柱や防犯灯が歩道に設置されて人1人がようやく通行できるくらいしかなく、排水溝の上を歩いているのが現状である。子どもや高齢者は危険な状態で

歩道を使用しており、ガードレールも9割が未設置の状態であり、優先して整備するよう県へ、町の意見を付して要請できないか。

建設課長 現状からすると危険な状態であるので、事ある度に要請はしていきたいと考えている。





玉城安雄 議員

問 公共工事の最低制限価格の見直しを

答 県、他市町村の制度運用を調査し、前向きに考える

玉城 本町の公共工事入札の最低制限価格は、どのような設定の仕方をしているのか。

町長 最低制限価格の設定は国土交通省の通知に基づき直接工事費95%、共通仮設置90%、現場管理費70%、一般管理費30%と調整額を組み合わせて設定し、予定

価格の75%から90%の範囲内で決定している。

玉城 県発注工事は経済状況、企業収益の悪化等を勘案し緊急に最低制限価格を予定価格の90%前後に引き上げ入札を執行している。町では85%前後で執行されているようだが、県に準ずる考えはな

いか。

総務課長 70%から90%の間の規程は県と同じであるが、その設定の仕方に制度上の違いがある。運用状況を細かく調べ

玉城 直接工事費で100%と95%、県と町の違いがあるが、そこを同じにすれば90%の設定は可能と考えるがどうか。

総務課長 県は緊急措置として直接工事費の部分で100%にしており結果として90%近くになるように設定されている。この制度と実際の運

用とどうなのかと言う部分も細かく調査して前向きに検討したい。

玉城 近年、県発注の5000万円以上の工事が一般競争入札の形で南部土木管轄一円から応札できるようになってきているが、地元優先発注を要請すべきではないか。

町長 入札には何社以上と規程もあるが、それも踏まえ地元優先発注をこれから訴えていく。



問 久米島から県議会議員を！

答 選挙区変更の実現に向け積極的に取り組む

玉城 県議選挙において本町は島尻郡区に属し、仮に候補者を擁立しても厳しい状況である。ゆえに那覇市区に選挙区の変更は可能か。

町長 この点は以前から指摘されており、生活基盤も那覇市と近く、那覇市区に変更することにより、可能性は非常に大きいと考えている。県議、周辺離島の首長と意見交換しながら、積極的に取り組む。



明るい選挙キャラクター「選挙のめいすいくん」

問 生活道路の整備を

答

「農業体質強化基盤整備促進事業」 で取り組む



翁長学 議員



翁長 比屋定町営住宅前の道路は、現在コーラル敷となつていますが、アスファルト舗装できないか。

町長 23年度第4次補正「農業体質強化基盤整備促進事業」の採択で取り組む。

翁長 比屋定区長などから整備の要請はなかったか。

建設課長 地域からの要望はある。

翁長 ぜひ、地域の要望に応じて整備して頂きたい。

建設課長 昨年末に国の4次補正があり、今回この事業にて年度内で設計発注できるか進めている。



平良義徳 議員

平良 現在、久米島空港内でパソコンの職業訓練が実施されている。120人の訓練生が資格取得や技能向上、就職に向けて勉強している。仕事をする上で、パソコンは必要不可欠である。職業上パソコンを使う頻度が増えてきている地域住民や訓練生多数の要望に

より、訓練終了後は町としてパソコン教室を開設し、人材育成に取り組む考えはないか。

町長 訓練終了後はそれぞれの努力で技能向上を図り、就業活動に活かしていただきたい。町としては、国、県による職業的なパソコン教室の開設はできないが、

町民からのニーズが多ければ検討したい。

平良 当該訓練生の要望として、人材育成と生涯学習の提案もある。

教育長 就業活動のためのレベルアップしたパソコン講座というのが、今後、場所や機器の問題、講師等諸々の観点がある。また、産業振興課でどの様な事業があるか意見交換しながら図っていきたい。

答

ニーズが多ければ 検討する

問 パソコン教室を開設し職業 訓練を！





喜久村等議員

問 通学路を安全な道に！

答 現場確認し対策する

喜久村 歩道に植栽されている樹木で、場所によっては歩行者の妨げになり歩けない状態にある。特に泊から宇根に向けて赤平通りは、子ども達の通学路でもあり、とても危険である。また、集落内において歩行者や車が見えにくい場所がある。このような危

険な場所の整備を、県に要請する考えはないか。

町長 久米島一周線の街路樹の一部撤去について、県は現場を確認し歩行者及び車の通行に支障があれば対策を講じたいとの事である。

喜久村 現場確認をしてから対策することになっているが、いづ

どのようなように行っているのか。

建設課長 時期について、早めに検討したいと言うことである。

喜久村 部活帰りの学生が夕方、歩道ではなく車道から歩いているのが頻繁に見受けられる。非常に危険な場所であり、早めの対策を取っていただきたい。



問 防犯灯をLEDに！

答 全てLEDにする目標で進めている

喜久村 現在ある防犯灯は耐用年数が過ぎており、だいぶ劣化している。修理代等で費用がかさみ、各字の負担加重となっている。町としてLED防犯灯に変更する考えはないか。

町長 町としても、防犯灯を全てLED化する目標で進めており、一部については24年度の一括交付金事業で整備を実施したい。

喜久村 一括交付金で整備する予算と取

り替え数は。

総務課長 当初予算の一括交付金のうち、約4946万円を計上している。灯数は注文個数によってかなり単価が変わるので、現在確定はできていない。

喜久村 防犯灯整備は25年度も継続して予定しているか。

総務課長 できれば継続して3年ぐらいを目標に各字、同じ割合で取り替えをしていきたいと考えている。



問 電線地中化の可能性は

答 景観計画に盛り込んで進めていきたい



幸地 猛 議員



幸地 電線地中化の検討会議を開催し、可能性を調査する考えはないか。電線を地中化すると停電対策にもなり、景観もよくなり、環境に優しい島づくりにもつながる。また、新たな公共事業として雇用対策にもつながる。

町長 と思うが。ライフラインの確保及び景観、環境保全の面から電線地中化については、早期に進めるべきだと思っている。しかしながら、事業導入は電力事業所や個人に負担がかかる可能性があるため、理解を得ることが先決条件となる。今後、国や県、民間などあらゆる方面から情報を得ると同時に地元での事業導入も調整しながら、電線類の地中化推進事業の導入を進めていく。

幸地 公立図書館の建設について、新町建設計画、第一次基本構想の中で具体的な計画はなかつたのか。また、これまで町民から要望はなかつたのか。

町長 後期基本計画で整備方針は盛り込まれているが、財政的側面での具体的な整備計画はない。町の人材育成を図る観点からも必要だと町民、団体等からの指摘もあるので、現在の図書室を活用しながら整備に向けて協議を図っていく。

教育長 合併前に大田昌秀元県知事、久米島郷友会、久米島商工会から図書館が必要ではないかという話があった。町はスポーツ面に比べて文化面が寂しいので、子どもから大人まで本に親しむ環境づくりができればと思っている。給食センターの改築、学校舎の改築、公立図書館と

問 公立図書館を建設し人材育成を！

答 整備に向けて協議を図る

ハード的な要素があるので、財政的な面を配慮しながら図っていきたい。



これも質問

問 施政方針について！



島袋完英 議員



問 行財政改革の達成度は？

答 町税の徴収率は8%向上

島袋 町長の就任以来の各分野の達成度は。

町長 町税の徴収は16年度の77・9%に対し、22年度は85・9%に向上。職員定数は17年度の233人に対し、22年度は206人。公共施設の統廃合については実現できたのは、中学校の一部と庁舎の一部である。

問 農業の振興 担い手不足の解消を

答 研修制度を増設し、育成をしていきたい

島袋 農業の担い手不足の解決方法、栽培技術、経営技術の向上等、農協との連携はとれているか。堆肥センターの稼働率は。

町長 実践的な研修は70%。

島袋 制度を増設し、担い手育成をしていきたい。農協も含め、栽培技術や農業簿記の講習会等で改善向上を図っている。堆肥センターの稼働率は70%。

問 観光産業の振興 航空運賃の割引を島民以外にも

答 県へ要望していく

島袋 関東・関西に観光営業マンを配置する考えはないか。景観条例の取組があるが実施されると指定地区はどんな町に

町長 観光営業マンの配置は特に考えていない。景観条例の事業については美崎仲地、イーフ地区や振興通り地区を指定

問 漁業の振興 製氷施設の設置予定は？

答 全体的な施設の整備計画を進めたい

島袋 漁港の整備で、島島・大田地区に製氷施設が無いため不便である。設置の予定はないか。また、儀間から鳥島前のイノーにサンゴを移植する考えは。

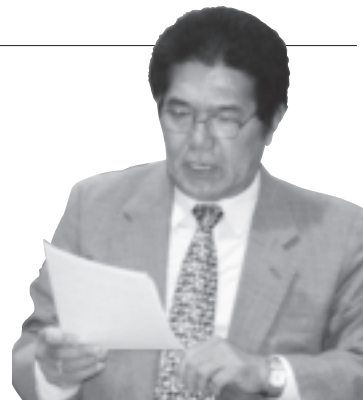
町長 漁協と全体的な施設の整備計画を確認しながら進めたい。赤土流出防止対策を講じ、水質検査やサンゴの移植については検討していきたい。

町長 観光営業マンの配置は特に考えていない。景観条例の事業については美崎仲地、イーフ地区や振興通り地区を指定

し、その地域特性を活かした町づくりに取り組みます。運賃割引制度は県事業であり、当該入域者も適用されるよう要望していく。郷友会員、ファンクラブ会員には町としてできるかを検討していく。

問 字真謝の農道（クサトゥバル）の整備を早急に！

答 24年度の新規事業として取り組みたい



安村達明 議員



安村 真謝部落農道のクサトゥバルと、交差する道路クシバルの農道は、路面状態も最悪で、住民が苦慮している。舗装整備して住民の安全を確保してはどうか。
町長 平成24年度の新規事業として採択

にに向けて取り組んでいる。
安村 同僚議員が質問した道路整備での回答と同じ回答だが、この2か所の農道は、同時整備と受け取ってよいか。今から選別するということがあるのか。
建設課長 町としても状況確認して事業費の問題と優先順位でいろいろ検討し、今回の真謝の地区に關しては、次年度で取り組みもうということとで計画している。

議会のうごき

■ 平成24年2月

- 1日 久米島高校存続についての会議に議長出席
- 4日 楽天オーナーとの夕食会に議長出席
- 6日 南部離島町村長議長連絡協議会に議長出席
- 9日 ●広報特別委員会
- 10日 佐賀県議会表敬に議長対応
- 14日 県立高等学校編成整備計画案の実施時期見直しの要請に正副議長出席
後期高齢者医療広域連合議会定例会に議員出席
- 15日 町村議会議長会理事会・総会に議長出席
介護保険広域連合議会議員研修会に議員出席
- 16日 津嘉山堆肥センターを議長ほか視察
町村議会議員研修会に議長ほか出席
- 17日 離島振興町村議会議長会総会、研修会に議長ほか出席
緊急患者8000回空輸謝恩会に議長出席
南部広域市町村圏事務組合議会定例会に議員出席
- 20日 ●議会運営委員会
●第1回臨時会
- 23日 全国離島振興市町村議長会総会に議長出席

■ 平成24年3月

- 1日 ●議会運営委員会
- 7日 ●第2回3月定例会（議案審議）
- 8日 ●第2回3月定例会（一般質問）

- 9日 ●予算審査特別委員会
- 10日 町立中学校卒業式に議長ほか出席
- 12日 ●予算審査特別委員会
- 14日 ●第2回3月定例会（追加議案）
島内工事現場等を全議員で視察
- 22日 町立小学校卒業式に議長ほか出席
- 23日 ●第2回3月定例会
- 26日 久米島製糖餅を議長ほか視察
- 27日 久米島病院岡田医師への感謝状伝達式に出席
- 31日 経済産業省久米島視察に議長同行

■ 平成24年4月

- 3日 公立久米島病院引継式及び祝賀会に議長ほか出席
- 6日 ●議員全員協議会
マグネシウム電池生産協定締結式に議長同席
- 10日 小中学校入学式に議長ほか出席
- 15日 政策会議に議長出席
- 16日 沖縄県町村議会議長会定例理事会に議長出席
- 19日 久米島製糖終了式及び懇親会に議長出席
- 20日 沖縄の食と農と暮らしを守るT P P参加阻止県民集会に議長出席
新任教職員歓迎会に副議長ほか出席
- 23日 県内ごみ処理施設等を副議長ほか視察
特別養護老人ホーム「球美の杜」完成祝賀会に議長出席
- 27日 沖縄県市町村行政連絡会議に議長出席

めざせ！飲酒運転⁰の島

「飲酒運転根絶の更なる推進」宣言決議

「飲酒運転根絶の更なる推進」 宣言決議

事件事故のない安全で安心な社会の実現は、町民、県民の共通の願いである。しかしながら、県下の交通人身事故に占める飲酒絡みの事故比率は、昨年も全国ワースト1となり平成2年より22年連続全国ワーストワンと不名誉な状況が続いている。

飲酒運転は、重大事故や死亡事故に直結する大変危険で許されない行為であり何の罪もない人を巻き込み、時には命を奪う悪質な犯罪である。

昨年、久米島町でも飲酒運転で12名が検挙され、昨年比で5名増加する等、飲酒運転根絶が叫ばれている中、依然として飲酒運転による検挙者が後を絶たず、飲酒運転根絶は未だ道半ばと言わざるを得ません。

飲酒の絡む事件・事故や飲酒絡みの重大交通事故の発生が懸念されているところであります。

よって、本町議会は、関係機関・団体、事業所、家庭及び地域住民が一体となって「酒を飲んだら絶対運転しない」「運転する人には絶対酒を勧めない」「酒を飲んで運転する人に絶対車を貸さない」「酒を飲んだ人が運転する車に絶対同乗しない」「ハンドルキーパー運動を広げる」などの運動を強力に実践し「飲酒運転の根絶」をさらに推進することを誓い、ここに宣言する。

以上、決議する。

平成24年3月23日

3月23日、町議会定例会で「飲酒運転根絶のさらなる推進」宣言を決議しました。

県下の交通人身事故に占める飲酒がらみの事故比率は、平成2年より22年連続全国ワースト1と不名誉な状況が続いています。

久米島町においても昨年、飲酒運転で12人が検挙され、前年比で5人増加しています。

飲酒運転の取締りが強化されてから、町民の意識にも変化が現れ、年々減少しているように思えますが、まだまだ検挙者が後を絶ちません。

厳しい処分と罰

酒酔い運転、酒気帯び運転をすると免許取り消しや免許停止という厳しい処分があります。そして、運転者だけでなく、車を貸した人、同乗した人、酒を出した

お店などにも厳しい罰が与えられます。

無くそう飲酒運転

不名誉な状況からの奪回をめざし、平成21年10月に沖縄県飲酒運転根絶条例が施行されました。飲酒運転は重大交通事故を引き起こします。私たちが地域住民が一体となって、声を掛け合い、この島から飲酒運転を根絶しましょう。

飲酒運転には厳しい処分が！

<p>酒酔い運転</p> <p>無条件で…… 35点 欠格期間3年 免許取消し</p>	<p>酒気帯び運転</p> <p>呼気中アルコール濃度 0.25mg/l以上 25点 欠格期間2年 免許取消し</p> <p>呼気中アルコール濃度 0.15mg/l以上 0.25mg/l未満 13点 免許停止 90日</p>	
<p>運転者にも運転者以外にも厳しい罰が！</p>		
<p>運転者</p> <p>酒酔い運転 35点以下罰金2万円100万円以下罰金 酒気帯び運転 25点以下罰金2万円100万円以下罰金 酒気帯び運転 13点以下罰金2万円50万円以下罰金</p>	<p>車両の提供者</p> <p>酒酔い運転 35点以下罰金2万円100万円以下罰金 酒気帯び運転 25点以下罰金2万円100万円以下罰金 酒気帯び運転 13点以下罰金2万円50万円以下罰金</p>	<p>酒類の提供者・車両の同乗者</p> <p>酒酔い運転 35点以下罰金2万円50万円以下罰金 酒気帯び運転 25点以下罰金2万円50万円以下罰金 酒気帯び運転 13点以下罰金2万円50万円以下罰金</p>

議員研修・津嘉山堆肥センター視察

2月16日(木)南風原町立中央公民館で行われた議員研修に議員13人が参加。午後1時30分から行われた同研修では、24年度予算や行財政運営の課題について学んだ。

当研修に先がけて、同日午前11時から津嘉山堆肥センターを視察。原料の確保や生産工程などの説明を受け、町の施設は改善の余地があると感じた。



島内現場視察

3月14日(水)、定例会終了後の午前10時より、全議員で島内現場の視察を行った。多目的公園(総工事費7億7144万円)、久米島ホテル館(排水工事予定)、堆肥センター、久米島縦断線、高架橋の5か所を視察。工事の進捗状況や、問題点等を確認した。



久米島製糖(株)視察

3月26日(月)議員7人で久米島製糖(株)の視察を行った。町農業委員とともにサトウキビ搬入、糖度やトラッシュの計測方法などを見学。新しく入れ替えたボイラー施設などの説明を受けた。

久米島製糖(株)は基幹産業である糖業を支える重要な施設。今後、スムーズな操業を期待したい。



ごみ処理施設視察

久米島清掃協業組合の呼びかけにより4月23日(月)24日(火)の2日間で①名護市環境センター、最終処分場、エコステーション②沖縄倉浜環境衛生施設組合③南風原「のぞみの里」④那覇市・南風原町環境施設組合の4施設を視察した。建設・経済委員会島袋委員長、棚原副委員長、玉城委員、仲村委員が同組合員や婦人会員ら総勢12人でごみの分別や処理方法について学んだ。



議会を傍聴 しませんか?

次回の定例会は
6月13日(水)
10時開会予定

一般質問(6/13)は、仲里庁舎1階ロビーのモニターでライブ放映も行っています。

広報委員
仲村 正昌
翁長 智弘
崎原 智弘
宇江 正昌
饒平 智弘

3月議会は、年4回の定例議会の中でも会期が長い議会です。平成24年度一般会計と特別会計の予算を審議しました。特に一般会計予算の73億6118万円が可決されました。前年度に比べて7・2%の増です。今回は、沖縄特別調整交付金(一括交付金)で、いろいろな事業が予定されています。現在、久米島町では観光客の減少、農業関係の不作等、多くの問題が山積みしています。特別調整交付金を適正に活用し、町が活性化するように、取り組んでいきたいと思えます。(翁長)

編集後記